

係 括 質 問

酒匂 守議員 二十一世紀は、国の行政改革に対応した分権の時代といわれ、画期的な地方の時代を迎えようとしている。これまで、国は、地方公団が行うべき事務事業を義務規定や機関委任事務を創設したり、また、多種多様な補助金制度を設けて、補助の名のもとに地方公共団体に介入し、自主自立の団体自治権と住民自治権を阻害してきた。行財政改革と地方分権の推進に伴い、住民の身近な行政サービスは、最も身近な町村が行い、住民のニーズに迅速、的確な処理と行政能力の一



酒匂 守議員

地方分権の受け入れ

態勢の決意は

層の向上、体質の改善が要求される。今、取り組んでいる町村合併も行政改革の基盤づくりであり、分権の受皿づくりでもあり、と考えるが、地方分権の受け入れ態勢への態度と決意は。

北村町長 行政の役割は、住民に最も身近な自治体であり、一貫して自主的、自立的に行財政を運営し、住民が住んで良かったと思える地域づくりを進める自治体を目指すことにある。また、行政能力を高めるため、町村合併を通して権限を拡充し、専門性を高めて、財政力を強化していくことが重要と考える。新しい自治体の自立を目標とした分権の確立への取り組みに向けて、行財政の問題、職員の資質向上、行政改革の

視点で鋭意取り組み、自己決定・自己責任のもとに、自治体を経営すると、
 いう感覚と視点を強く持つて、行財政の運営に努めたい。

地域高規格道504号の整備計画は

酒匂議員 国道504号は、北薩横断道路として整備が進められている。

現在、泊野区間一〇キロが、環境調査区間指定されているが、整備区間

指定へ向けての取り組みと、その見通しは。

町長 泊野道路一〇キロが、平成十一年に調査区間の指定を受けている。泊野道路を含む北薩横断道路の整備促進は、薩摩郡七町で組織する促進期

成会を中心に、強力に要望しているところである。整備区間への格上げ時期については、明快な回答は得られなかったが、引き続き要望活動を展開していきたい。

クマタカの影響は

酒匂議員 環境調査の結果、この地域にクマタカが生息しているようだが、整備計画促進に影響はないものか。

町長 県の土木部長の話によると、直接影響を及ぼすことがないよう検討することであった。



工事が進む国道504号（高尾野町平八重付近）